

2020年9月10日

株式会社 WOWOW

代表取締役 社長執行役員 田中 晃

(コード番号：4839 東証第一部)

プレスリリース

「連続ドラマW 坂の途中の家」が第36回ATP賞ドラマ部門で優秀賞を受賞



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 田中 晃、以下「WOWOW」）と株式会社テレパックが製作した「連続ドラマW 坂の途中の家」が、第36回ATP賞ドラマ部門において優秀賞を受賞しました。

「連続ドラマW 坂の途中の家」は、直木賞作家・角田光代による家庭に潜む究極の心理サスペンスを描いた傑作を柴咲コウ主演で連続ドラマ化した作品です。

ATP賞は、1984年にATP（社団法人全日本テレビ番組製作者連盟）によって創設された賞で、製作会社の社会的機能を高め、制作スタッフ一人ひとりの情熱や気概に応えることを目的としています。創り手である製作会社のプロデューサーやディレクターが自ら審査委員となって優れた作品を選ぶ日本で唯一の賞であり、ドラマ

部門、ドキュメンタリー部門、情報・バラエティ部門の3つのジャンルで作品を募集し、毎年100本を超える応募作品の中から、グランプリ、最優秀賞、優秀賞などが選出されます。

WOWOWは、コーポレートメッセージ「見るほどに、新しい出会い。」のコンセプトのもと、今後もオリジナルコンテンツの充実を図り、上質なエンターテインメントをお届けしていきます。

■「連続ドラマW 坂の途中の家」の概要

初回放送

2019年4月27日(金)～6月1日(土) [WOWOWプライム] (全6話)

WOWOWメンバーズオンデマンド

配信中

DVD情報

DVD-BOX カルチュア・パブリッシャーズより好評発売中

番組内容

直木賞作家・角田光代のベストセラー小説を柴咲コウ主演でドラマ化。柴咲コウ演じる乳児虐待死事件の補充裁判員に選ばれた主婦である主人公が、自らも幼い子どもを持つ母親として、次第に被告と自分自身を重ね合わせていく。裁判を通し、"家庭"という閉ざされた世界に隠された衝撃の事実が浮かび上がる。

脚本は映画『人魚の眠る家』など、人間の深層心理を鋭くかつリアルに描くことで定評のある篠崎絵里子が担当。角田光代作品では、恋愛と金銭が交錯する心理サスペンスを描いたドラマ「紙の月」を手掛けている。監督は、2017年に初の映画『おじいちゃん、死んじゃったって。』で数々の賞を受賞し、注目を集めた映像ディレクター森ガキ侑大。

<スタッフ・キャスト>

出演：柴咲コウ、田辺誠一、伊藤歩、眞島秀和、桜井ユキ、松澤匠、松本笑花、西田尚美、倍賞美津子、高畑淳子、佐藤めぐみ、滝沢沙織、利重剛、酒井美紀、光石研、風吹ジュン、水野美紀

原作：角田光代『坂の途中の家』（朝日文庫刊）

脚本：篠崎絵里子（『人魚の眠る家』）

監督：森ガキ侑大（『おじいちゃん、死んじゃったって。』）

音楽：山口由馬

プロデューサー：岡野真紀子／黒沢淳、金澤友也

製作：WOWOW／テレパック

報道関連・IR関連のお問い合わせ

人事総務局広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp